

令和5年安中市議会第1回定例会は、2月24日から3月17日までの22日間の会期で開催されました。

この定例会に市長から提出された議案は、人事案件や条例の制定など41件、令和5年度予算関係8件、合わせて49件でした。

また、委員会提出議案として議案1件が提出されました。

定例会のあらまし

◇2月24日=本会議 会期の決定、議員の辞職、議案41件を上程（内1件を即決）。議案を各委員会に付託。

◇27日=本会議 施政方針。令和5年度予算関係8議案を上程。予算審査特別委員会を設置、同委員会に付託。

◇3月2・3・6日=予算審査特別委員会

◇8日=総務文教常任委員会

◇9日=福祉民生常任委員会

◇10日=経済建設常任委員会

◇14・15=本会議 一般質問

◇17日=本会議 委員長報告、質疑、討論、採決。市長提出議案48件を可決。委員会提出議案1件を可決。閉会。



今定例会における一般質問は、3月14日と15日に行われ、9名の議員が市政全般について、当局の所信をただし、活発な議論が展開されました。

質問者全員の質問と答弁の要旨を質問者の原稿に基づき発言順に一般質問を掲載しています。

PCや
スマホでも

議会をご覧ください!

次の定例会市議会は、6月9日～6月26日までの予定です。



デジタル化行政・学校教育・都市間交流について

かないひさお
金井久男 (日本共産党安中市議員)

マイナンバーカードについて

問 国は、カード取得率で自治体の地方交付税の配分に格差をつけるというのが実態はどうか。

答 (企画経営部長) 普及率によって額が優遇される措置がとられています。

問 交付を推進してきた事業の費用負担はどうだったのか。

答 (企画経営部長) ブース設置の事業費は、2月までの契約で1,250万円ほどです。全額国庫補助金です。

カードと健康保険証について

問 個人の資産などが将来、行政に把握されるといった警戒感からカードを取得しないという市民にどう対処するのか。

答 (企画経営部長) 令和6年秋以降も現在の保険証を1年間、有効とする報道もありました。

デジタル化による影響について

問 どんな市民も取り残さない。サービスを保障するのが行政である。格差をどうするのか。

答 (企画経営部長) 情報格差対策に努めています。

高価なランドセルについて

問 ランドセルに代わる安価で丈夫な、スクール用バッグを支給すべきではないか。

答 (教育部長) 県内の市町村の動向等を参考に慎重に検討していきます。

問 ランドセルが重くて、体に負担がかかっているというが、重さが体重の5分の1に近い。教材の軽量化ができないのか。

答 (教育部長) 児童の体への負担を軽減するための方策を検討します。

小田原市との交流連携について

問 歴史的関係が深い小田原市との交流、連携を深めてはどうか。

答 (企画経営部長) 歴史的な関係を軸に、様々な面で検討していきます。